

営農ウィークリー NEWS

高温耐性品種「にこまる」品質良好



2024 年産農産物検査も終盤にかかり、10月31日現在 5,291 袋/30 袋個（規格外含まず）の検査を行いました。

等級比率は全体で、

1等・・・14.09%

2等・・・45.4%

3等・・・40.51%

となっております。

早生品種では、白未熟粒（背・腹白粒）が多く、3等、規格外が多く発生しています。

晩生品種では、出荷契約で8割を占める「ヒノヒカリ」では、猛暑の影響で3等、規格外が多く発生し1等比率は1.9%となっております。今年は、晩生品種「ヒノヒカリ」でも規格外が多く発生しているのが特徴です。

一方、高温耐性品種「にこまる」の品質は良好で、高品質が確認されており、中には高温による白未熟粒（背・腹白粒）が見受けられますが、被害は軽微です。

高温による影響は、次年以降も予想されるため、「ヒノヒカリ」の栽培適正は限界に達していると判断でき、JAでは晩生品種については「ヒノヒカリ」から「にこまる」への品種転換をおすすめしています。「にこまる」についてのお問い合わせは、各エリア担当者、または営農販売課までご連絡ください。

2024 年度 府内 JA 営農指導活動実績発表会

—TAC information—



高温耐性品種「にこまる」について発表します！！

発表会は、府内各JAの営農指導担当者が日頃の活動実績を発表することによる営農指導力の向上および営農指導担当者の相互研鑽を図るために開催されます。

JAから、経済部営農販売課の佐藤聖也氏が、発表会に参加し高温耐性品種「にこまる」導入と普及について発表します。上位に入賞すると、近畿地区JA営農指導担当者研修会にて京都府代表して発表することとなります。

佐藤聖也さんのご検討をお祈りいたします！！！！

◆2024年産「ヒノヒカリ」・【規格外品】（京都市伏見区地域）
高温による障害（白未熟粒過多）



◆2024年産「にこまる」・【1等品】（京都市伏見区地域）

